

生体の科学 第17巻 総目次

1966年 (第1号～第6号)

〔巻頭言〕

- 戦後20年、橋田邦彦先生を偲ぶ…高木 貞敬… 1(1)
 生物物理学の国際組織……………小谷 正雄… 53(2)
 学会などにおける討論のやり方…藤森 聞一… 105(3)
 脳研究の重要性と将来……………白木 博次… 153(4)
 「基礎医学振興」について…………中井準之助… 205(5)
 生物物理学研究の多様性…………右衛門佐重雄… 257(6)

〔主題 筋細胞の興奮性〕

- 平滑筋生理学の諸問題……………
 鈴木 泰三・猪又 八郎… 2(1)
 平滑筋における興奮と抑制…………栗山 照… 12(1)
 Ca-スパイクの生理と薬理
 ……………萩原 生長・中島 重広
 高橋国太郎…………… 25(1)

〔主題 微小循環(1)〕

- 微小循環の問題点……………高木健太郎… 106(3)
 毛細血管の電子顕微鏡的形態学…山元 寅男… 112(3)

〔主題 微小循環(2)〕

- 毛細血管の血管構築……………小川 義雄… 154(4)
 血流のレオロジー……………岡 小天… 168(4)

〔主題 微小循環(3)〕

- 微小循環の研究手法
 ……………入沢 宏・二宮 石雄… 206(5)
 毛細血管の透過性……………森 堅志… 214(5)
 色素法による微小循環の研究
 一粥状動脈硬化治療剤(Pyridinol-
 carbamate)の末梢循環への働き—
 ……………藤田 勉・須永 俊明
 久保田昌良・石井 恭正
 佐々木俊明…………… 224(5)

〔主題 微小循環(4)〕

- 循環系における静脈系の役割…………伊藤 宏… 258(6)
 病的血管透過とその問題点…………林 秀男… 269(6)
 第1回国際ヘモレオロジー会議

に出席して……………岡 小天… 274(6)

〔総説〕

- シナプス前抑制と樹状突起性
 抑制……………古河 太郎… 54(2)
 呼吸運動の神経性調節
 —特にその中枢性神経
 機構について—……………福原 武彦… 66(2)

〔実験講座〕

- 流量測定法(2)……………入内島十郎… 40(1)
 流量測定法(3)……………入内島十郎… 137(3)
 位相差顕微鏡と干渉顕微鏡
 —その構造と有効な使い方(1)—
 ……………水平 敏知… 178(4)
 リン脂質の分離精製法(I)…………下条 貞… 235(5)
 位相差顕微鏡と干渉顕微鏡
 —その構造と有効な使い方(2)—
 ……………水平 敏知… 287(6)
 リン脂質の分離精製法(II)…………下条 貞… 295(6)

〔文献案内〕

- カテコールアミンを研究するにあ
 たつてどんな本を読んだらよ
 いか……………吉田 博… 98(2)
 ポリサッカライドの研究をする
 にあつてどんな本を読ん
 だらよいか……………山川 民夫… 150(3)
 Feedback 機構を研究するにあ
 たつてどんな本を読んだら
 よいか……………畠山 一平… 187(4)
 ステロイドホルモンの化学と代
 謝(生合成を含む)の研究
 をするにあつてどんな本
 を読んだらよいか……………玉置 文一… 252(5)

〔アンケート〕

- アイソザイムについて
 ……………大河内寿一・服部 信
 和田 博・瓜谷 郁三

小野 哲生・坂岸 良克	
萩田 善一・勝沼 信彦	35(1)
交感神経末端およびその効果器	
官の作用機構について	
.....藤原 元始・山元 寅男	
栗山 熙・佐久間 昭	
後藤 昌義・丹生 治夫	
星 猛	89(2)
平滑筋について	
.....栗山 熙・福原 武	
横山 正松・玉重 三男	
市河 三太・川端 五郎	
白鳥 常男・田北 周平	
鈴木 泰三	143(3)
Transport について	
.....岸本卯一郎・山田 英智	
須田 正己・遠藤 実	175(4)
スライド説について	
.....真島 英信・玉重 三男	
名取 礼二・葛西 道生	
八木 康一・遠藤 実	241(5)
lysosome について	
.....小川 和朗・黒住 一昌	
品川 嘉也・山田 英智	
渡辺陽之輔・藤田 尚男	
梶川欽一郎	281(6)
〔交 見〕	
「生理学者は生化学者に何をのぞむか」	
「生化学者は生理学者に何をのぞむか」	
機能にむすびついた生化学研究	
に期待	内山 孝一 46(1)
総論的大生理学を起こせ	市原 硬 46(1)
生化学は化学的手法を手段とす	
る生物学の一分野	畠山 一平 47(1)
共通の対象あるいは現象を語り	
あおう	長野 敬 47(1)
Biophysical な面を	山野 俊雄 48(1)
生理学の協力を	丸山 工作 94(2)
境界問題に協力を	入来 正躬 94(2)
主体を異にする二つの共同研究	
を同時に進行させるための	
体制を	石川 晋次 95(2)
両者のギャップがなくなつたと	
感じられる時	大山 浩 96(2)
生理学は親父である!!	杉野 幸夫 96(2)
意見交流は積極的に	真野 嘉長 97(2)

共同の大きい旗のもとに両者の	
学は相補ない相助けよ	竹中 繁雄 134(3)
話し合い、考え合える共通の	
場を	寺山 宏 134(3)
生理学の方法とその限界の	
理解を	高垣玄吉郎 135(3)
互いに仲よく	平井 秀松 135(3)
機能的な研究	永井 寅男 136(3)
「医学部の教育課程について」	
生活に直結した社会的要因が	
.....山本 郁夫 183(4)	
基礎医学振興の夢	杉江 三郎 183(4)
理科系学部出身者と共に	松田 勝一 184(4)
基礎医学者の養成には	問田 直幹 185(4)
基礎と臨床との接近のもとに	山田 肇 185(4)
三つの提案	額田 榮 246(5)
志望講座の決定は早く	陣内伝之助 246(5)
基礎、臨床、共に学ぶ期間を	
長く	川村 太郎 247(5)
為政者への訴えを	勝木 保次 248(5)
4年間とその前後	中井準之助 248(5)
基礎医学振興策に寄せて	三浦 義彰 249(5)
基礎訓練を早いうちに	野田 春彦 249(5)
基礎医学者養成の問題点	武内 忠男 302(6)
“人間研究”あるいは“健康研究”	
を希う	大木 幸介 302(6)
生化学に進むひとは	上代 淑人 303(6)
教養課程における広い基礎づくり	
.....野々村禎昭 304(6)	
基礎医学教育コース	伊藤 隆太 304(6)
基礎医学者の育成について	竹内 正 305(6)

〔報 告〕

肝癌細胞の電気生理学	菅野 義信 191(4)
〔海外だより〕	
Ciba Foundation シンポジウム	
“Touch, Heat and Pain”	
.....佐藤 昌康 50(1)	

〔抄 録〕

「生体運動機構」セミナー(2)	
.....渡辺 静雄(他) 102(2)	
「生体運動機構」セミナー(3)	
.....酒井 敏夫(他) 148(3)	
「生体運動機構」セミナー(4)	

.....John M. Marshall(他)·· 199(4)

〔書 評〕

J.C. Eccles 著, 東大第2生理学教室訳

“シナプスの生理学”.....本川 弘一·· 45(1)

萩原朗編集

“眼の生理学”.....本川 弘一·· 65(2)

Bahr, G.F. & Zeither, E.H. 著

“Quantitative Electron

Microscopy”.....石井善一郎·· 111(3)

萩原朗編集

“眼の生理学”.....問田 直幹·· 174(4)

浜島善博 京極方久著

“免疫組織学”.....岡林 篤·· 186(4)

Robert F. Pitts 著, 藤本守訳

“腎と体液の生理”.....久野 寧·· 204(4)

塚田裕三, 黒川正則編

“中枢神経実験法”.....吉川 春寿·· 268(6)

日本超音波医学会編

“超音波医学”.....青柳 健次·· 286(6)